

患者さんと誠実に向き合える 医療者を作りたい

伊藤隼也は今回、沖縄県、沖縄県医師会、琉球大学が立ち上げたプロジェクト「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」を訪問。施設の概要や看護教育の課題、理想の看護師像などについて、阿部幸恵さん、山田久美子さんに伺いました。



vol.34

おきなわクリニカル
シミュレーション
センター

2階にある病棟をイメージしたシミュレーションルーム

年間1万4000人弱の
医師や看護師、学生らが利用

伊藤 琉球大学の敷地内に、こんな大規模なシミュレーションセンターがあるなんて知りませんでした。
山田 伊藤さんには一度、見てもらいたいと思っていたので、こういう機会ができて私もうれしいです。
伊藤 それにしても広いですね。設立はいつですか？
山田 2011年3月25日です。広さは2250平方メートルあり、規模としては日本一となります。アジアでもこれほど大きなシミュレーションに特化した施設はないかもしれません。
伊藤 阿部さんは、センターの開設に関わった中心人物だと聞いています。施設の概要について教えてください。
阿部 当センターは3階建てで、1階には手術や救急医療、集中治療を再現できるシミュレーションルームや、臓器の一部を使えるウェットラボなど、専門技術を学べる多目的トレーニングルームがあります。また、トレーニング後に自身の学習を振り返るアプリフィングルームも用意しています。2階は病棟をイメージできるように、3階は多目的ホールになっています。

教育と臨床の架け橋として。
あるいは、すでに現場で働く
医療者の技術の質の向上に。
こういう教育も重要だと感じた。

ます。各トレーニングルームの一角はマジックミラーになっていて、奥の部屋から指導者やインストラクターの様子を観察したり、シミュレーターを操作したりすることが可能です。
伊藤 かなり最先端で、充実した施設ですね。エレベーターもトレーニング仕様になっているとのことですが、阿部 病院で使われているものと同一仕様になっていて、ストレッチャーを運ぶことができます。実際、ストレッチャーやベッド、車いすを用いたトレーニングを行っています。新人看護師のなかには、こういう基礎的なことができない人がいるので、こういう場でトレーニングすることは大切です。
伊藤 利用しているのは、看護師さんだけですか？
阿部 いいえ、研修医が手術の手法をトレーニングするために利用することもありますし、医学生や看護学生、医療機関に勤めている職員なども使っています。ですが、職種として多いのは、やっぱり看護師ですね。新人看護師の研修や復職の支援などは、看護協会と連携を図りながら進めています。
伊藤 こういうサポートがあれば新人看護師も心強いし、現場を離れていた方も復帰もしやすいですね。年間の利用者数はどれくらいですか？
阿部 初年度は1万4000人弱、2

年目にあたる昨年度の利用者数は、その1.5倍くらいでした。利用者の8割が県内、2割が県外です。

看護学生には「100本ノック」
多職種で利用するケースも

伊藤 看護師や看護学生に対して、ここではどんなトレーニングを行っているのでしょうか。
阿部 いろいろありますが、代表的なのは、就職前の「100本ノック」というトレーニングです。国家試験に合格した看護師の卵が対象で、いくつかパージョンが用意されています。

伊藤 どういうトレーニングですか？
阿部 例えば「採血編」では、2人1組で看護師役と患者役に分かれて、採血のシミュレーションを行います。患者役は患者側の目録で、採血の手順や説明がうまくできたかを評価します。「どちらの腕にするか、事前に聞かれましたか？」とか、「針を刺す前に「チェックしますよ」と説明を受けましたか？」など、チェックしていくんです。

伊藤 なるほど。
阿部 さらに制限時間も設けてあって、時間が過ぎたら途中で終了。最後に患者役が看護師役に「こがよかったか、どういふ点が問題だったかなど、

Profile

おきなわクリニカルシミュレーションセンターチーフインストラクター
東京医科大学病院シミュレーションセンター長・教授

あべ 幸恵さん

1986年看護学校卒業。看護師、救命救急、高齢者施設、保育園で臨床を経験。2006年、大学、大学院に在籍し栄養学博士を取得。06年よりシミュレーション教育に関わる。11年からは琉球大学医学部附属病院地域医療教育研究講座にて、おきなわクリニカルシミュレーションセンター設立に関わる。14年から現職。



看護師

やまど くみこ
山田 久美子さん

1999年准看護師、02年看護免許取得。消化器・脳外科、呼吸器・腎内科、回復期リハビリテーション病棟を経験。11年からシミュレーション教育を学び、新人看護師、看護学生のシミュレーション教育に関わる。



「看護は業務ではない」
「考え、表現できる看護師を育てたい」
阿部さんのような熱い教育者が
もっと増えることを切に願う。



阿部 トレーニングの前後を評価表で
比べたり、振り返りをしたりすると、
スキルのにも上がっていることが分か
ります。また、一つひとつの演技の意
味を考えるようになり、お互いに意見
を言い合えるようにもなりますね。
伊藤 阿部さんは、看護師として臨床
の現場で働いていたわけですが、それ
がどうして教育のほうに？
阿部 実は、以前から教育に興味があ
ったんです。看護学校の教員を経験
したことで、やはり教育の道に進みた
いと思うようになりました。自分が何
度か病気を入院をしたことも、患

者として医療者を見つめるきっかけに
なりました。これではダメだなと感じ
る場面もあり、そんななかで患者さん
に誠実に向き合える医療者を作りたい
と思うようになったんです。
伊藤 阿部さんの教育にかける情熱の
原動力はそこにあつたんですか。
阿部 やはり「考える看護」でしよう
か。患者さんに声をかけて話を聴く、
触診をして体温や体が震えているかど
うかをみる。そういうことが本来は必
要なのですが、今は進歩したモニター
や自動血圧計などの機器を使って、で
きるだけ早く値を知ろうとします。
伊藤 こういう基本を忘れてしまっ
ているのは、現場にゆとりがなく日々
業務に追われてしまっているからだ
と思いますか？
阿部 ゆとりがないのは確かでしょう
が、忙しいと、じっくり考えることが
できなくなると、じっくり考えること
が、業務の効率だけを考えた仕事に追
われるようになります。でも、少し暇

設定した部屋をつくり、患者役の看護
師にはベッドに寝てもらいます。その
上で、通常業務のように、経過記録や
医師からの指示をもとに、患者さん
をみていきます。その際、看護師役は「4
人部屋の患者さんの検温をして下さ
い」という課題を出します。
伊藤 そうすると？
阿部 ほとんどの学生が、一番近い患
者さんから、同じ順番（体温・脈・血
圧……）で観察していきます。3年目
の看護師でもそういう人がいます。で
も、症状も重症度も患者によって違
う。最初に熱を測らなければいけない患
者さんがいれば、容体を聞くことから始
めた方がいい患者さんもあります。そ
で、どうやって優先順位をつけたら
いいか、どこに改善点があるのかなど、
トレーニング後のアプリーフィングで
振り返ってもらいます。
伊藤 多職種がチームとして利用する
こともあるのでしょうか。
阿部 あります。透析に関わる医師、
看護師、メデイカルエンジニアが、過
去にあった急変について、次からは的
確に対応できるように、トレーニングし
たという例もあります。モニター付き
の高機能シミュレーターを使えば、具
体的なことが学べますし、忙しい現場
ではなかなかむずかしい振り返りが、
こういう場ではじっくりできます。

者として医療者を見つめるきっかけに
なりました。これではダメだなと感じ
る場面もあり、そんななかで患者さん
に誠実に向き合える医療者を作りたい
と思うようになったんです。
伊藤 阿部さんの教育にかける情熱の
原動力はそこにあつたんですか。
阿部 やはり「考える看護」でしよう
か。患者さんに声をかけて話を聴く、
触診をして体温や体が震えているかど
うかをみる。そういうことが本来は必
要なのですが、今は進歩したモニター
や自動血圧計などの機器を使って、で
きるだけ早く値を知ろうとします。
伊藤 こういう基本を忘れてしまっ
ているのは、現場にゆとりがなく日々
業務に追われてしまっているからだ
と思いますか？
阿部 ゆとりがないのは確かでしょう
が、忙しいと、じっくり考えることが
できなくなると、じっくり考えること
が、業務の効率だけを考えた仕事に追
われるようになります。でも、少し暇

教育と臨床現場の解離を埋める 沖縄県の「新人応援プログラム」 考える力+プレゼン能力を育てる 新しい看護の教育プログラムを



伊藤集也 (いとうしゅんや)
医療ジャーナリスト、写真家
医療情報研究所代表
患者中心の医療を実現するための
医療ジャーナリストとしてテレビ
や雑誌などのメディアで活動中
ホームページ shunya-itô.tv

フィードバックをします。これを交互
に100回繰り返します。これをやる
と、かなり上手に採血の手順を踏める
ようになります。
伊藤 現場に入る前に、基本的な手技
を体に覚え込ませるわけですね。
阿部 ほかに、看護学生や3年目ぐ
らいまでの看護師に対する教育プログ
ラムの一つとして、病棟にいる患者さ
んの状態を的確にとらえるトレーニン
グを実施しています。これは、病室を



パーテーションを利用し、リアリティある雰囲気を演出

去にあった急変について、次からは的
確に対応できるように、トレーニングし
たという例もあります。モニター付き
の高機能シミュレーターを使えば、具
体的なことが学べますし、忙しい現場
ではなかなかむずかしい振り返りが、
こういう場ではじっくりできます。

設定した部屋をつくり、患者役の看護
師にはベッドに寝てもらいます。その
上で、通常業務のように、経過記録や
医師からの指示をもとに、患者さん
をみていきます。その際、看護師役は「4
人部屋の患者さんの検温をして下さ
い」という課題を出します。
伊藤 そうすると？
阿部 ほとんどの学生が、一番近い患
者さんから、同じ順番（体温・脈・血
圧……）で観察していきます。3年目
の看護師でもそういう人がいます。で
も、症状も重症度も患者によって違
う。最初に熱を測らなければいけない患
者さんがいれば、容体を聞くことから始
めた方がいい患者さんもあります。そ
で、どうやって優先順位をつけたら
いいか、どこに改善点があるのかなど、
トレーニング後のアプリーフィングで
振り返ってもらいます。
伊藤 多職種がチームとして利用する
こともあるのでしょうか。
阿部 あります。透析に関わる医師、
看護師、メデイカルエンジニアが、過
去にあった急変について、次からは的
確に対応できるように、トレーニングし
たという例もあります。モニター付き
の高機能シミュレーターを使えば、具
体的なことが学べますし、忙しい現場
ではなかなかむずかしい振り返りが、
こういう場ではじっくりできます。



山田 基礎教育を終えた新人
看護師が実践力をつけていく
ためのシミュレーション
トレーニングです。シミュレ
ーションでは、自ら考えて行動
すること、患者さんの状態に
合わせた看護技術を提供でき
か。

教育と臨床現場の解離を埋める
沖縄県の「新人応援プログラム」
伊藤 とところで、山田さんはどうい
う経緯でシミュレーションセンターに関
わるようになったのでしょうか。
山田 もともと看護学生の実習指導や
新人看護師教育に携わっていたので、
看護教育に興味がありました。
そんななか看護学校で阿部先
生の行うシミュレーション
トレーニングに出会い共鳴し、
2年前から当センター主催の
「新人応援プログラム」に関
わるようになりました。今は
臨床で看護師として働きのな
がら、トレーニングのシナリオ
を作ったり、インストラク
ターをしたりしています。
伊藤 「新人応援プログラム」
とは、どういうものですか。
山田 基礎教育を終えた新人
看護師が実践力をつけていく
ためのシミュレーション
トレーニングです。シミュレ
ーションでは、自ら考えて行動
すること、患者さんの状態に
合わせた看護技術を提供でき
か。

い方をしますが、忙しいのは言い訳に
ならないと思っています。業務と看護
は違います。これでは臨床現場に看護
の本質が伝わっていきません。
伊藤 「考える看護」以外に、不足し
ている点とは？
阿部 自分の意見をまとめ、それを表
現する力が十分でないように思います。
考える力と伝える力が乏しいと、フィ
ジカルアセスメントをする際にも、相
手に何を聴かれても困らないように、
本当に必要な情報を収集しようとしま
す。できるだけたくさん情報をとらな
いと心配になるからです。自分で考え
て、自信をもって患者さんを見ることが
意識的にできるようにすれば、「看護
」がもっと楽しくなります。そうい
う看護ができる看護士の育成を、ここ
では目指していきたいのです。
伊藤 看護教育はこれから大きな改革
が必要になりそうですね。
阿部 山田さんなど私の考え方に共鳴
してくれる看護師とともに、頑張って
いきたいと思っています。

るようになることなどを目指します。
1年を通じて阿部先生やセンターの看
護師、県内の臨床看護師がチームでサ
ポートします。
伊藤 このプログラムを受けた看護師
さんの様子はどうですか。
山田 始めは戸惑っていましたが、中盤
あたりから、優先順位を考えつつ、意
図的に五感を使って患者さんを観察で
きるようになります。アプリーフィ